

□水位操作意見書論点整理

注：() 内の数字は意見書の中の検討項目(p.14、15)の番号

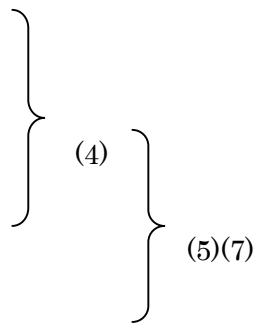
対象とする場

- ①琵琶湖水位 (放流量)
- ②天ヶ瀬ダム (宇治川水位・水量)
- ③ 3川合流点
- ④淀川大堰

1. 環境 (生態系)

①洪水期(前期、後期)の低水位

- ・水位変動リズムの喪失 (絶対水位：BSL 0 cm から何センチ低くなるとどのような影響が生じるか)
- ・急激な水位低下の影響
- ・長期的な水位低下 (数週間から数ヶ月におよぶ) の影響
- ・水位低下に付随して生じる影響
- ・水位操作試行の評価と限界
- ・その他(環境振り替え:丹生ダム関連)

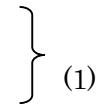


②冬季の高水位(浜欠け)(6)

③渇水時の河川の維持用水 (塩水、遡上の問題含む)

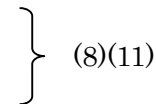
2. 治水

- ①洪水期制限水位上昇に伴う洪水リスクの増大
- ②内水被害、野洪水(2)
- ③洪水リスク増大に対する経済的補償(3)
- ④洪水期における洗堰の全閉操作
- ・その他 (9) (10)



3. 利水：データ、議論不十分

- ①水需要抑制
- ②取水制限の時期(11)
- ③渇水時の河川の維持用水(水面利用)
- ・その他



4. その他

- 気象変動 (少雨化傾向の有無)